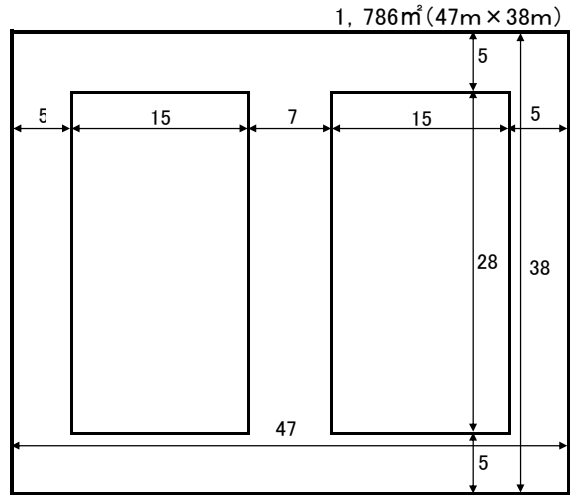


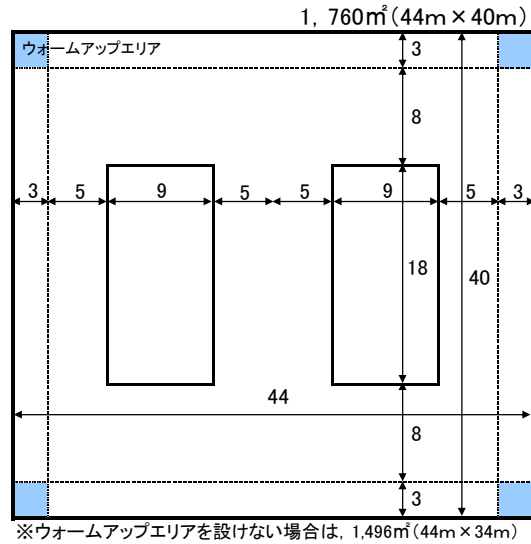
### 主な競技のサブアリーナにおけるコート配置イメージ

- ◆1,880㎡(47m×40m)の規模で整備できれば、国体基準でバスケットボール及びバレーボールのコートを2面配置できる。
- ◆この規模であれば、剣道、柔道及び空手道の試合場が、概ね6面配置できる。
- ◆この規模であれば、バドミントンのコートが10面、卓球台が12台配置できる。
- ◆この規模のサブアリーナを整備すれば、メインアリーナと同時に別の大会を開催することが可能となる。
- ◆政令市の拠点体育館において、1,800㎡以上のサブアリーナを整備している例は無い。また、近年、10万人以上の市で整備された拠点体育館においても同様である。

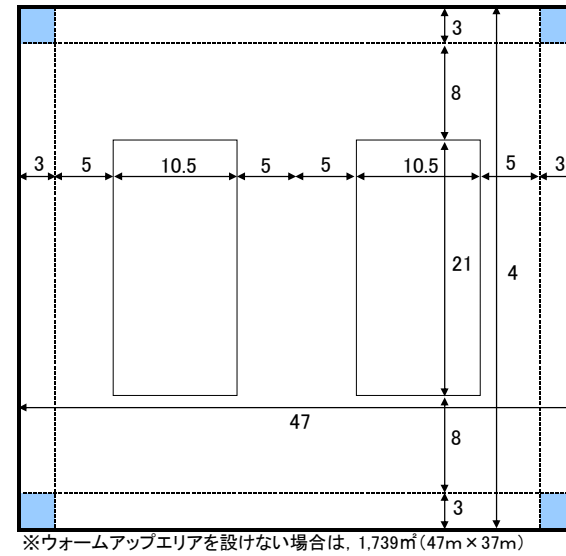
●バスケットボール 2面



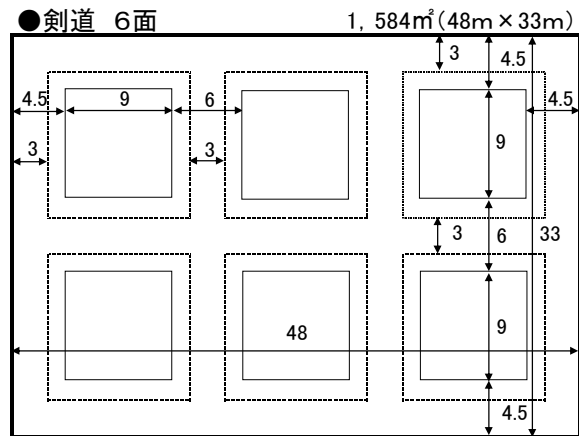
●バレーボール(6人制・9人制女子) 3面



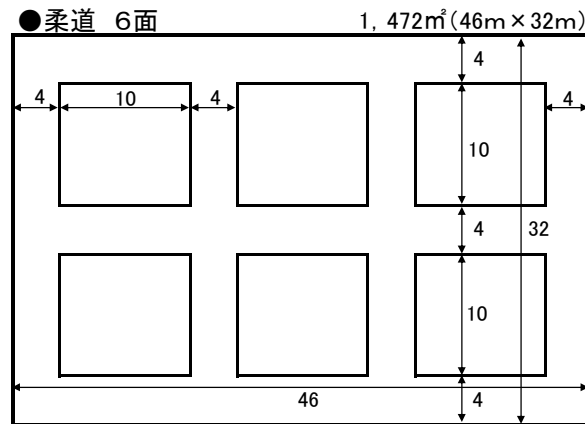
●バレーボール(9人制男子) 3面



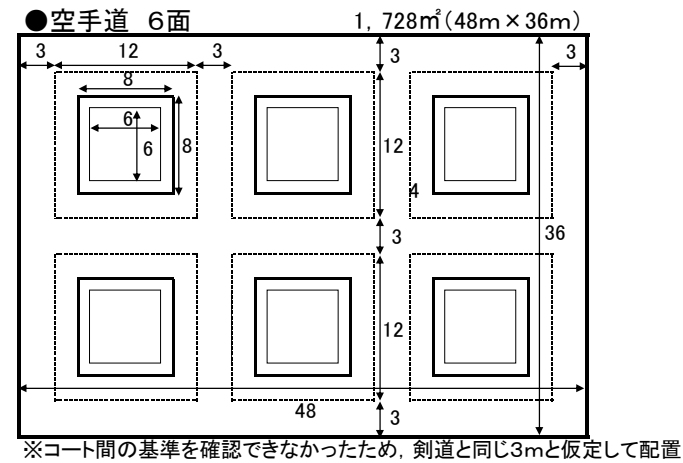
●剣道 6面



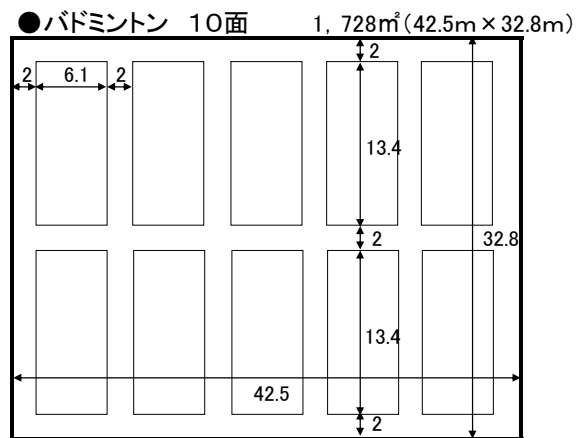
●柔道 6面



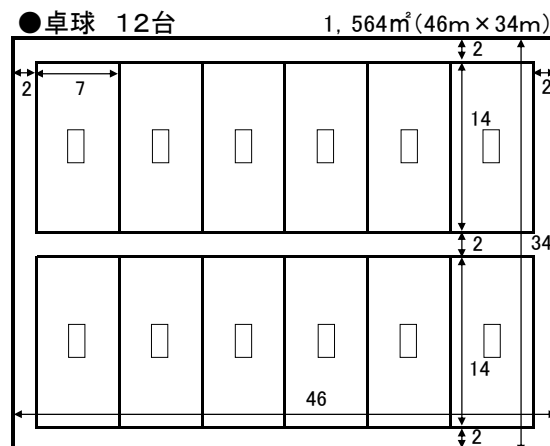
●空手道 6面



●バドミントン 10面



●卓球 12台



※コートの配置は第73回国民体育大会競技施設基準を適用。ただし、バレーボール(9人制)は、第67回の基準を適用。